



# フェロテックマテリアルテクノロジー「サーモモジュール」で実績

フェロテックマテリアルテクノロジーは、東京都中央区に本社を置く。熱対策部品「サーモモジュール」(ペルチェ素子)の製造販売で実績を拡大している。原

材料から組み立てまで一貫生産を行い、多彩な製品ラインアップ、カスタム品を含む柔軟な対応などを強みに、ユーザーから高い評価を得ている。同社は、先頃東京ヒ

「熱対策技術展」に出展し、サーモモジュールの紹介とともに、サーモモジュールの紹介ととも

に、サーモモジュールの紹介ととも

## 原材料から組み立てまで一貫

### 多彩な製品や柔軟な対応で評価

同時に反対の面は加熱される。また、直流電

源の極性を入れ替える

と、この現象が逆転

し、逆方向に熱の移動

を行うため、同じ面で

冷却・加熱のいずれの

目的にも使用すること

ができる。その機能に

より、センサー、制御

用途は、かつてはクーラーボックスやワインセラーなどを中心に使用されていたが、近年

度は産業用途での活用

が広がり、現在は、P

CR検査機などのバイ

オ関連、半導体関連、

自動車など幅広いアプ

リケーションで需要が

拡大している。

21年度は35%増

同社は、1992年

から、サーモモジュー

ル事業を立ち上げ、以

降、順調に事業を拡大

し、現在はフェロテ

ックグループ全体での

サーモモジュール応用製品の空調ジャケット



高は、前期比35.3%増の176億3500万円と大幅に増加した。特に企業向けで高い実績を持つと説明する。

同社のサーモモジュール事業の強みについて、大屋匡史サーマルソリューション事業部長は、「社内で原材料

の生成からセンサーまでを一貫して行

き、地域別でも日本の

進めている。

も小型品から大型品まで幅広くそろえている。標準品に加え、カスタム品開発にも柔軟に対応できる。サーモモジュールには計8個の単体に加え、サーモモジュールを搭載している。ブースを訪れた来場者からの引き合いも多かったため、今後は国内の繊維メーカーや衣料加工メ

ーカーなどの協力も得ながら提案していく方針。

サーモモジュールの生産は、中国・杭州工場をメイン工場に、複数拠点での生産を行う。現在は需要増に対応するため、中国・常山工場での増産対応を進めている。



大屋 事業部長



サーモモジュール